

事務事業名	図書館管理運営事業（繰越明許費）			事業コード	10051200101
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤 由喜子
事業対象	坂井市民全般、および市内通勤者、通学者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	有	図書館法			
根拠例規	有	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画	有	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】	地域社会の情報拠点として、幼児から学生、高齢者までの幅広い利用者の生涯学習の推進を図る。
	<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館資料の収集整備、貸出、情報提供 ・おはなし会や講演会の開催及び配本等による読書普及活動 ・施設の維持管理 <p>○報酬（図書館協議会委員報酬） 90千円</p> <p>○賞金（臨時職員賞金） 38,295千円</p> <p>○報償費（講師謝礼、協力者謝礼） 491千円</p> <p>○費用弁償 63千円</p> <p>○旅費（講師旅費他） 40千円</p> <p>○需用費 15,022千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・消耗品費（定期刊行物購読料、新聞代他） 6,976千円 ・その他需用費（印刷製本費、光熱水費、修繕費他） 8,046千円 <p>○役務費（電料他） 1,208千円</p> <p>○委託料 9,208千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システム保守委託料 2,192千円 ・その他委託料 7,016千円 <p>○使用料及び賃借料 12,547千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館システム使用 7,972千円 ・その他使用料及び賃料 4,575千円 <p>○工事請負費 46,554千円</p> <p>○備品購入費（図書購入） 28,086千円</p> <p>○負担金（図書館協会負担金） 39千円</p>

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費				
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度	
			報酬	90千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			委託費	9,208千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			需用費	15,022千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			役務費	1,208千円	千円	千円	千円	千円	千円	
			その他	87,820千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	事業費合計	113,348千円	千円	千円	千円	千円	千円			
	事業費	特定財源	国県支出金	975千円	千円	千円	千円	千円		
			使用料・手数料	千円	千円	千円	千円	千円		
			分担金・負担金	千円	千円	千円	千円	千円		
			地方債	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	70千円	千円	千円	千円	千円		
一般財源			265,695千円	千円	千円	千円	千円			
財源合計	266,740千円	千円	千円	千円	千円	千円				

指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度
成果	市民一人あたりの貸出冊数	目標値	8.1	達成率 8.0	達成率 7.9	達成率 7.7
		実績値	8.5	104.94	8.1	8.0
活動	図書資料費	目標値	24,000	達成率 24,000	達成率 24,000	達成率 25,000
		実績値	28,000	116.67	23,000	23,000
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				
		目標値		達成率	達成率	達成率
		実績値				

すぐに行ける改善提案	平成23年1月より、4館を統合した新システムにより、貸出業務を行っています。これにより、貸出利用者は前年同月より増加してきています。やはり図書館の使命は本の貸出を多くの市民に提供することであるので、どうしたら市民の皆さんが図書館に来ていただけるかという方向性を出すことを、23年度の目標としながら事業運営をしていきたい。併せて、子どもの読書活動推進計画の推進を実施していく予定です。23年度の市職員体制を見る限り、今後も職員減が考えられるので、これに合わせた図書館内の職員体制を考えていかなければな
目標年度 平成27 年度	
取組状況	平成23年度は、子どもの読書普及活動に力を入れ、乳幼児から中学生、ボランティア、また子どもを持つ両親などを対象とした講演会のための予算化をして、4つの講演会を開催しました。大勢の参加者が本の読み聞かせなどを楽しみ、ボランティアなど大人には本と子どもをつなぐための勉強にもなり、この事業を継続してほしいとの要望も多く、24年度も引き続き継続する予定です。また、今年度は、国の交付金事業で市内図書館の施設改修も行いました。今後施設面でもさらに快適な環境を目指していきたいと思ひます。
中長期的に取り組むべき改善提案	図書館は市民の求める知識や情報収集の拠点となる大切な施設です。そのため、当分の間は住民の身近な施設として4図書館を利用できるよう現状維持していく予定です。4図書館がそれぞれの地域に関する資料を多く集め、地域に根ざした図書館にしていきたいと考えていますが、中長期的なビジョンとしては、現在の三國図書館、春江図書館の施設が老朽化した時点で図書館の効率化を考えたいと思ひます。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	平成24年度より、坂井図書館を坂井中学校敷地内へ移転新築し、平成25年度に開館する予定です。他の3館においても、施設的には十分に使用でき、住民の要望に応えられる現状ですので、当分はこのまま現状維持という形で継続していきます。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	A
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
【担当者評価】	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
【所屬長評価】	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	A	
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B	

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	図書館の資料の収集整備、貸出、情報の提供は、市民のニーズに適合しているため、このまま継続します。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	市の施設であるので記入なし			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成24	年度を目安
判断事由	坂井中学校に坂井図書館の移設の工事が完了し、従来から問題のあった事項が改善されたので、住民に対するサービスの面では、現在でも職員が1名不足し、職員のローテーションでも支障があったので、1名増をお願いする人件費の投入をお願いします。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断事由	坂井図書館移設工事により、手狭であり、事務所も小さく職員も6名しか配置できない状況でありましたが、他の図書館と比較すると、職員に対しては、職員のローテーションでも支障が有り無理がかかっていました、それに対して1名増をお願いします。			
すぐに行ける改善提案	23年度の図書館職員体制より、春江図書館の職員を1名減としました。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	坂井市教育振興基本計画に基づき、多様な資料の提供を基本としたサービスの充実と子ども読書活動の推進を図ることにより、利便性と読書環境を改善していきます。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】

事務事業名	記念文庫等運営管理事業			事業コード	10051200201
所管部署	丸岡図書館	電話	67-1500	記入者名	斉藤 由喜子
事業対象	坂井市民および市内通勤者、通学者、全国の研究者				
総合計画	基本構想	生涯を通じて学び・育つまちづくり		事業区分	自治事務（任意的なもの）
	基本計画	社会教育・生涯教育の充実		事業種別	ソフト事業
実施主体	市	実施手段	市が直接実施	委託内容	
根拠法令	無	図書館法			
根拠例規	無	坂井市立図書館条例、坂井市立図書館条例施行規則			
関連計画	無	坂井市教育振興基本計画、坂井市子どもの読書活動推進計画			

【事業の概要】 事業の目的・事業の概要等	中野文庫及び小葉田文庫の蔵書、遺品の維持管理・収集を行うとともに、中野重治氏と小葉田淳氏を文化的先駆者として啓蒙を図る。
	<p>【事業内容】 中野重治氏を偲ぶ「くちなし忌」の開催や生家跡の管理、各文庫の資料の収集整理、保存を行う。</p> <p>○報償費（講師謝礼、出演者謝） 89千円 ○費用弁償 46千円 ○需用費（事務用消耗品費、光熱費他） 52千円 ○役務費（トイレ汲取料） 4千円 ○委託料（樹木選定業務委託料） 300千円 ○使用料及び賃借料（トイレ借上） 32千円 ○負担金（中野重治の会負担金） 5千円</p>

予算	款	教育費	項	社会教育費	目	図書館費					
【事業のコスト】	コスト	事業費	平成23年度		平成22年度		平成21年度		平成20年度		
			報酬	千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			委託費	300千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			需用費	52千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			役務費	4千円	千円	千円	千円	千円	千円		
			その他	173千円	千円	千円	千円	千円	千円		
	事業費合計	529千円	千円	千円	千円	千円	千円				
	事業費	特定財源	正職員	0.30人	2,039千円	人	千円	人	千円	人	千円
			臨時職員	0.00人	千円	人	千円	人	千円	人	千円
			人件費合計	0.30人	2,038千円	人	千円	人	千円	人	千円
			総事業費		2,567千円		千円		千円		千円
			国県支出金		千円		千円		千円		千円
使用料・手数料				千円		千円		千円		千円	
分担金・負担金		千円		千円		千円		千円			
地方債		千円		千円		千円		千円			
その他		千円		千円		千円		千円			
一般財源		2,567千円		千円		千円		千円			
財源合計		2,567千円		千円		千円		千円			

	指標名	単位	年度	平成23年度	平成22年度	平成21年度	平成20年度	
成果	中野重治記念文庫見学者数	人	目標値	150	達成率 150	達成率 150	達成率 150	
			実績値	173	115.33	178	118.67	286
成果	小葉田淳記念文庫見学者数	人	目標値	50	達成率 50	達成率 50	達成率 50	
			実績値	54	108	78	156	121
活動	講演会参加人数	人	目標値	180	達成率 180	達成率 180	達成率 180	
			実績値	200	111.11	187	103.89	183
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					
			目標値		達成率	達成率	達成率	
			実績値					

すぐにできる改善提案	中野重治文学を啓蒙する取り組みとして「くちなし忌」と記念講演会を実施しています。また、小葉田淳歴史文化を啓蒙する取り組みとして「記念講演会」を実施しています。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	文庫の予算も十分ではなく、今のところ、高額な資料の購入は望みませんが、貴重な資料を保管大切に保存しながら利用者に見学や、資料の閲覧サービスをしています。これらの偉人をひとりでも多くの人々に知ってもらうためにも、毎年成人大学などとタイアップして講演会などを開催し、啓蒙を深めたいと考えています。
中長期的に取り組むべき改善提案	一つの地区では事業も実施拡大とならないので、今後坂井市全体としての取り組みに集約していく必要があります。また、記念文庫事業は、文学的遺産として考えるのがよいと思われます。このことから、坂井市内の文学的遺産および文化遺産を集約し、文学館等での管理運営を検討していく必要があります。
目標年度 平成27 年度	
取組状況	当分の間、各図書館の文庫の資料は、図書館内に保管し、利用者の希望に応じて文庫内の見学や資料の閲覧、また必要に応じてレファレンスを受けるなどのサービスを続けますが、長期的な構想としては、やはり文庫は市内1ヶ所に集約して学芸員など専門的知識を持つ職員が収集、管理していくことがふさわしいと考え、検討していきたいと思っています。

【前年度改善案に対する取組状況】	【市民のニーズ】 社会情勢や環境の変化により、市民ニーズが薄れていませんか？	A. 薄れていない B. 少し薄れている C. 薄れている	B
	【市が実施する妥当性】 市が事業実施主体となることは妥当ですか？（国、県、民間の活動と重複していませんか？）	A. 妥当である B. あまり妥当でない C. 妥当でない	A
	【受益の公平性】 特定の個人や団体に受益が偏っていませんか？	A. 偏っていない B. 多少偏っている C. 偏っている	B
【担当者評価】	【事務の効率化】 事務手続きの見直しなど、事務の効率性をさらに向上させることができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B
	【民間活力の導入】 事業の成果を低下させず民間活力（民間委託、指定管理者、まちづくり協議会等）を導入することで、さらにコスト削減することができますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	A
	【歳入増加策】 受益者負担金や歳入増加策を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	A
【有効性】	【事業の成果】 事業成果の目標達成状況は順調ですか？（事業の成果が十分に上がっていますか？）	A. 順調である B. あまり順調でない C. 順調でない	B
	【サービス内容の見直し】 成果を向上させるためサービス水準や対象を見直す余地はありますか？	A. 余地はない B. 検討の余地あり C. 見直すべき	B
	【他事業との統合】 類似・関連事業との統合により、成果をより向上させることはできますか？	A. できない B. 検討の余地あり C. できる	B

事業の方向性	このまま継続します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	記念文庫は、藩政以来400年以上の歴史を歴史と伝統を持つ旧丸岡町の城下町あり、歴代藩主は、幾多の学問芸術に秀でた人材を輩出し、近代文学作家、中野重治氏の逝去により、氏の膨大な蔵書が町に寄贈されたことにより、図書館を建設した経緯を考えると、中野、小葉田記念文庫に関する講演会については、両賢人の威徳を市民に知らしめる為にも、講演会については継続をしていきたいと思います。			
実施主体の方向性	現状どおり実施します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	実施態については、両氏の後援会の参加人員の年齢を考えると、皆様高齢化しており、運営を任せるのは、困難だと考えられます。このことから実施主体は、今後図書館の運営方針が変更されるまでは、郷土文化の効用の高揚のためにも、このまま実施すべきであると考えます。			
コスト投入の方向性	事業費の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	今後、図書館の運営方針が変更されるまでは、このまま実施すべきであると考えます。			
人員投入の方向性	人員の増加を検討します。	目標年度	平成27	年度を目安
判断理由	全国的に著名な作家の記念文庫としての立場としては、ただ、資料を保管するだけと考えるのではなく、その資料を有効に活用した取り組みに進むべきだと考えます。研究については大学との共同研究でも出来ますが、それに対応した、市の職員も必要だと考えられるので、専門職に耐える人員の増加を望みます。			
すぐにできる改善提案	講演会や、行事を開催しながら、市民に対し、文庫を利用してもらうために、啓蒙をしてゆきます。			
目標年度 平成27 年度				
中長期的に取り組むべき改善提案	今後、中野重治関係の研究者が高齢となり、個人が所有する、自記筆の資料等について、寄贈の申し込みが増加する傾向にあるので、その資料収集に努めながら、記念文庫としての取り組みを進めてまいります。			
目標年度 平成27 年度				

【事業の成果】